

JAERA NEWS LETTER vol.182

一般社団法人日本自動車リサイクル機構

ニュースレター 2024年6月号



新連載

自動車リサイクル業界を 担うホープ(2)

名前：三部 和也(さんべ かずや) (31歳)

所属：㈲タムラ部品商会

生産部商品管理担当

特技：硬式野球(キャッチャー)、絵を
描くこと

MBTI：ENFJ-T(主人公型)

— 仕事で誰にも負けない部分

部品梱包(美化作業時に指示されたこ
と以上に丁寧にやること)

— この業界の魅力を一言で
クルマが好きで部品名など多くの知識
が得られるところ。

— 将来の業界への期待

今よりも中古部品の流通量が増えるこ
とを期待しています。

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

INDEX

【新連載】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 ——— P.1

2024年度自動車リサイクル士講習会のご案内 ——— P.2

社員総会のご案内/JAERA会議報告 ——— P.3

資源回収インセンティブ制度の解説 ——— P.4

2023年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 3月出荷状況/
3月新車販売・使用済自動車発生台数 ——— P.5

鉄スクラップ最新情報 ——— P.6

行事予定・お知らせ / 編集後記 ——— P.7

巻頭言

広報部会

永田 則男

観測史上初、世界各地でオーロラが観測されるなどの現象が報道されました。このオーロラ、なんと我が山形県でも観測されたということです。日本海沖がわずかにピンク色に染まったそうです。貴重な天体ショー見そびれてしまった私はまったく残念至極です。

しかし、珍しい天体現象に喜んでばかりいるわけにはいかないようです。太陽フレアによって発生する太陽風によって、人工衛星やGPSなどに影響を与え、身近なところではスマホにも影響が出る可能性もあるとのこと。スマホ必携の現代人にとってはのっぴきならない問題ですね。

01

▶ 自動車リサイクル士 2024年度講習会のご案内

2024年度の自動車リサイクル士講習会の日程・申込スケジュールが決定しました！

2024年度の自動車リサイクル士講習会の日程・申込スケジュールが決定しました！今回も前年同様WEBを活用した講習会となります。

なお、新規講習会は試験会場毎に定員を設定しております。昨年は定員を超えた会場がございましたので、受講をご検討されている皆様はどうぞお早めにお申込みください！



2023年度 福岡会場試験の様子

スケジュール

■新規講習会（新たに自動車リサイクル士の資格を取得する方）

申込期間	2024年6月6日（木）～7月19日（金）※当日消印有効	
動画配信期間	2024年9月2日（月）～11月29日（金）正午まで	
試験日程	①札幌会場：2024年10月9日（水）14:00～15:00 札幌市教育文化会館 ②仙台会場：2024年10月11日（金）14:00～15:00 東京エレクトロンホール宮城 ③東京会場：2024年10月18日（金）14:00～15:00 赤羽会館 ④岡山会場：2024年10月22日（火）14:00～15:00 岡山市勤労者福祉センター ⑤大阪会場：2024年10月23日（水）14:00～15:00 国労大阪会館 ⑥名古屋会場：2024年10月24日（木）14:00～15:00 日本特殊陶業市民会館 ⑦福岡会場：2024年10月30日（水）14:00～15:00 福岡県立ももち文化センター ⑧沖縄会場：2024年11月1日（金）14:00～15:00 いちゅい具志川じんぶん館	
合格発表	2024年12月4日（水）10:00	

※動画配信期間→WEB上で講習動画をご視聴いただける期間（全動画をご視聴のうえ受験）

※岡山会場の試験日が例年よりも早くなっておりますのでご注意ください。

■更新講習会（既に資格をお持ちで2024年度中に有効期限を迎える方）

申込期間	2024年7月19日（金）～9月13日（月）※当日消印有効
講習会日程	WEB上で講習をライブ配信するサテライト方式 1回目：2024年11月22日（金）10:00～16:00頃 2回目：2025年1月22日（水）10:00～16:00頃

※更新対象者はこちらからご確認ください

<https://www.elv.or.jp/media/20/20240531-zirisi2024kousintaisyo.pdf>

※講習会終了後にWEB上の確認テストがございますが、点数による可否の判定はございません。

お申込・詳細はこちら▶

<https://www.elv.or.jp/35-87-0.html>（リンク先の「2024年度講習会関連情報!」をクリック）

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 事務局（担当：京野）

■TEL：03-3519-5181

■FAX：03-3597-5171

■Mail：jaera-homepage@elv.or.jp

02 ▶ 2024年度 定時社員総会のご案内

2024年度の「定時社員総会」は前年に引き続き、対面とWEBを併用した形式で開催いたします。

日にち	2024年6月20日（木）
場 所	鉄鋼会館（東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10） ※アクセス： https://www.tekko-kaikan.co.jp/publics/index/207/
時 間	■第1部 定時社員総会：13:00～14:00 / 12:30 受付開始 ※対面でのご参加は、各支部2名（支部長+1名）までとさせていただきます。 ■第2部 会員交流会：14:15～15:45 ■懇親会：16:00～18:00 / 15:30 受付開始

会員の皆様のWEB参加

今回の社員総会並びに会員交流会は、会員の皆様どなたでもWEBでご参加いただけます。参加をご希望の場合は、会社名、氏名を記載の上、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。（6/14まで）

WEB 参加お申込み先▶

jaera-homepage@elv.or.jp

社員（支部長）の皆様

社員総会のご案内を5月17日に個別でメールにてお送りしておりました。出欠のご連絡につきましては、6月14日（金）までメールに添付の出欠回答票にてお知らせくださいますようお願いいたします。（万が一、メールが届いていないなどございましたら、機構事務局までお問合せ下さい）

03 ▶ JAERA 会議報告

第2回理事会 —5月14日（火）WEB会議—

6月20日に開催の定時社員総会に向け、2023年度事業報告と2023年度の事業計画案が審議された。審議終了後、リサイクル技術部会より自動車リサイクル士認定証の活用についての協力について、広報部会からニュースレター表紙の企画説明と協力について、未来部会からはJAERA新リーフレットの進捗状況の報告があった。

岡山県支部総会 —5月17日（金）岡山県岡山市—

本部から酒井代表理事が出席され、総会後に行われた行政交流会では、岡山市、倉敷市、岡山県庁の自動車リサイクル行政関係者など会員含めて32名が集まり、機構の概要や自動車リサイクル士の説明と意見交換が行われた。

北海道支部総会 —5月24日（金）北海道札幌市—

本部からは酒井代表理事が出席された。総会では、自動車解体事業評価認定制度や次世代プロジェクトの取り組み等の報告、2024年度の活動計画について審議が行われた。

沖縄県支部総会 —5月26日（日）沖縄県沖縄市—

定時社員総会に向け支部内の意見集約が行われ、総会後には、使用済自動車の入庫状況や解体業許可更新についての意見・情報交換が活発に交わされていた。

山形県支部総会 —5月21日（火）山形県天童市—

平地ブロック長会議長、京野事務局員（WEB）が本部から出席し、総会後には、機構の活動報告並びに2024年度からJAERAが取り組む資源回収インセンティブ制度に係る実証事業について説明がされた。

福島県支部総会 —5月25日（土）福島県郡山市—

総会終了後、JAERAの2023年度の活動報告が行われ、共同出荷事業や資源回収インセンティブ制度に関する意見が多く挙がった。本部からは平地ブロック長会議長、京野事務局員が出席した。

04

▶【特集】資源回収インセンティブ制度を紐解く

2026年4月、資源回収インセンティブ制度開始に向けて

前号では、当機構（JAERA）が代表事業者となり資源回収インセンティブ制度（以下、本制度）に関する実証事業が開始されることをお伝えしました。本制度が開始される2026年4月を見据え、自動車解体事業に関わる皆様が本制度を正しくご理解いただくよう、連載企画を始めました。（不定期連載）

今号では“インセンティブは何を原資に支払われるのか”について、リサイクル料金やASRに触れながら順を追って解説していきます。

資源回収インセンティブ制度

本来ASRになるはずであった「樹脂・ガラス」などの資源を、解体事業者などが使用済自動車から回収し、マテリアルリサイクルに活用することで、ASRの減量、円滑な再資源化の促進、CO₂の削減、再資源化の高度化や再生材利用の促進を図る制度のこと。資源を回収することでASRの発生量が減り、その減った分のASRを処理するはずであった費用を原資として、インセンティブという形で回収した解体事業者などのプレーヤーに支払われます。

※前号（6P）やVol.169（4P）もご参照ください

ASRとは

使用済自動車から金属類などを回収した後に残る樹脂・ゴム・ガラスなどの破砕クズのことです。Automobile Shredder Residueの頭文字を取ってASRと呼ばれています。現状、ASRのほとんどがサーマルリサイクルといって、燃やすときに発生する熱エネルギーを回収・利用されたり、セメントなどにマテリアルリサイクルされています。



ASRイメージ

リサイクル料金の内訳

新車購入時に購入者が預ける（預託する）自動車のリサイクル料金は、図1のように5つの要素で構成されています。①のとおりASRの再資源化・適正処理に要する費用はリサイクル料金の中に入っており、これが今回支払われるインセンティブの原資となります。ここで理解しておきたいのは、インセンティブはあくまでASRが減った分のASR処理から支払われるため、インセンティブを支払うこと前提にASRの処理費用（引いてはリサイクル料金）が設定されるということではない点です。例えば、インセンティブを支払うことになるから、その分リサイクル料金の額も高くなると誤解されている方もいるかもしれませんが、それは間違いです。

リサイクル料金の内訳

- ①シュレッダーダスト（ASR）
- ②エアバッグ類
- ③フロン類
- ④情報管理料金
- ⑤資金管理料金

3物品のリサイクル（再資源化・適性処理など）に必要な費用

図1

ASRの処理費用

本制度において、解体事業者の皆様は「回収した素材の販売額+インセンティブ」が収入となります。では、インセンティブの原資となるASR処理費用ですが、大体どの程度の額なのでしょう。

ASRの処理費用については、通常自動車メーカーが主体となっており、リサイクルや処理費用だけではなく、指定引取場所としての運営費や、自動車メーカー・チーム（TH・ART）での事務処理費用など中長期的に勘案したうえで設定されています。各社のHPなどでASRの処理実績も公開されており、国内自動車メーカー見るとASRの処理費用は大体35円/kg前後となっています。（国内6メーカーの公開情報からJAERA調べ）ただし、このASR処理費用はあくまでインセンティブの原資であり、実際に支払われるインセンティブ額についてはまだ決まっていません。

インセンティブは素材を回収したことで減った分のASR処理費用を原資として支払われるということについて解説をしました。次号では、回収した素材の価値について、取り巻く状況や自動車メーカーの動きなどを解説をしていきます。

05

▶ 2024年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業
4月出荷状況

単位：個

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウス α 41	レクサス CT200H	アクア / ヴィッツ	カローラアクシオ / フィルダー	クラウンHV GWS204	クラウンHV AWS210
27	8	54	1	0	39	0	1	1

SAI/レクサス HS250H	日産デュトロ / ブルーリボン	ノア/ヴィクシー / エスファシア	シエンタHV	プリウス 50	プロボックス サクシード	マツダ アクセラ	不良品 A~C	合計
0	0	1	0	1	0	0	14	120

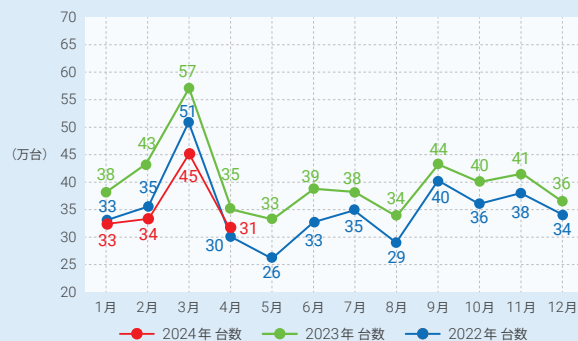
2023年度の結果はこちら ▶

<https://elv.or.jp/index.php?itemid=1906>

06

▶ 4月新車販売・使用済自動車発生台数

2024年4月度 新車販売台数 310,345台（前年同月比88.8%）



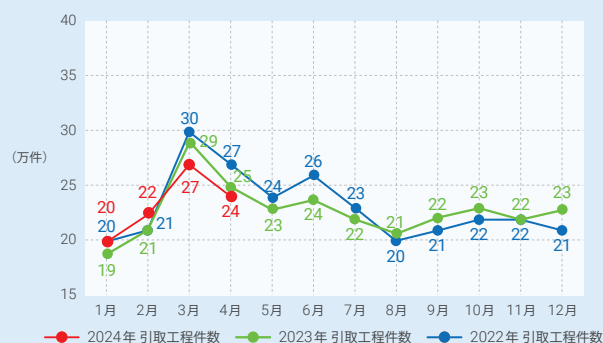
新車販売の月別推移 (2024年 2023年 2022年)

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

過去の新車販売台数推移

年累計	台 数	前年比 (%)
2024年 (4月まで)	1,441,485	83.3
2023年	4,779,086	113.8
2022年	4,201,320	94.4
2021年	4,448,340	96.7
2010年	4,598,615	88.5

■ 2024年4月度 使用済自動車引取（電子マニフェスト）実施状況



使用済自動車引取件数の月別推移 (2024年 2023年 2022年)

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

引取件数

4月 243,428件（前年同月比98.2%）

フロン回収工程

4月 223,513件（前年同月比99.1%）

解体工程

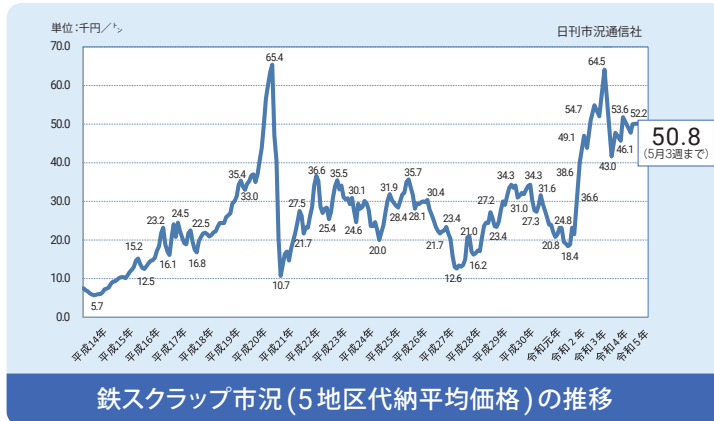
4月 258,417件（前年同月比99.5%）

07

鉄スクラップ最新情報

[提供：日刊市況通信社]

5月第4週（23日）の鉄スクラップ動向



5月23日の国内スクラップ炉前実勢価格（中心値）

		H2	気配
関東	北関東	50,500 ～ 52,500	様子見
	南関東	50,500 ～ 52,500	様子見
	浜値	50,000 ～ 51,500	様子見
名古屋		50,000 ～ 52,000	様子見
関西	大阪	51,000 ～ 52,500	様子見
	姫路	50,000 ～ 50,500	様子見

東日本・東海は様子見姿勢を維持、西日本は需要停滞で変化に乏しい展開

東日本市場は5月10日以降、需要家筋の値上げ改定が概ね一巡してからは、様子見商状の推移が続いている。電炉生産が減産基調となっていることから、在庫水準の高い需要筋で荷受制限の動きが見られる。ただ、市中スクラップの発生・荷動きが依然として低調なため、高値を提示して引き合いを強める動きも散見される。

東海市場は、5月の電炉生産が高水準となる計画だ。市中スクラップ発生・荷動きは依然として低調なものの、輸出が伸びておらず、域内の需給に目立った変化は見られない。このため鉄スクラップ相場動向にも変化がなく現在に至っている。

西日本地域の鉄スクラップ市況は膠着商状。域内電炉の需要停滞が目立つことにより、市況は変化に乏しい展開が続いている。

西日本の電炉側は4月末からの大型連休に向けて、在庫積み増しをしっかりと図っていたこともあり、連休終了後も在庫回復を要する環境にない。製品の受注不振やトラブルによって、生産を下方修正する動きも見られる。ヤマトスチールや宇部スチールが6月に跨っての炉休入りとなり、東京製鉄岡山工場も5月21日7時から24日7時まで荷止めを行い、需要は停滞感が強い。新規輸出商談もアジアミルの希望価格が足元の関東湾岸価格に見合わず、国内高・輸出安が続いていることにより、反発期待を寄せる声は乏しいまだ。

関東 市中スクラップの発生薄く入荷にバラつき

関東市場の市中スクラップの発生・荷動きは依然として低調だ。関東電炉生産は前年同月実績を下回る低水準だが、荷余り感が生じることがないうえ、需要家筋の入荷にバラつきも見られる状況にある。H2 炉前実勢価格は50,500 ～ 51,500円中心、高値52,000 ～ 52,500円見当。事業所ごとに鉄スクラップ入荷にバラつきがあるため、購入価格には上下2,000円ほどの価格差がある。H2 浜値は5万～5万1500円中心で推移している。

東海 市況動き無くなおも膠着状態継続

名古屋地区の鉄スクラップ市況は、依然として膠着状態にある。市中からの発生も、盛り上がりや欠く環境が続いている。5月は毎年大型連休の関係から月前半の荷動きが大きく後退する傾向にあり、働き方改革の浸透の影響もあるとみられ「今年は例年以上にしっかりと休暇を取る企業も増え、前半のヤード入荷は少なかった」（問屋筋）とする声も聞かれた。H2 炉前実勢価格は50,000 ～ 51,500円中心、高値52,000円見当

大阪 荷動きに殺到感なく様子見横ばい

大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状にある。荷動きに殺到感が見られないが、電炉需要のバラつきに加え、各社、在庫レベルが高いことを背景に、市況は膠着気配を保っている。市中発生薄が続いていることも加わり、今のところ荷余り感が生じてくる展開にはならず、需給バランスに崩れは見られない。H2 炉前実勢価格は、大阪地区が51,000 ～ 52,500円中心、姫路地区が50,000 ～ 50,500円中心。

（※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、5月23日午前時点のもの）

08 ▶ お知らせ

廃発炎筒回収に関する価格改訂のお願い

発炎筒製造メーカー“日本カーリット株式会社”より自動車解体業を営む皆様へ、廃発炎筒回収に関する価格改定のご願いがございました。

現在、廃発炎筒については日本保安炎筒工業会の広域回収システムによって処分されておりますが、原材料・燃料価格の高騰や運賃コスト等の上昇により、集荷費用が300円の値上げとなります。

詳細はこちら

<https://www.elv.or.jp/media/20/20240527-hatuenntoukaisyuu2024.04.pdf>

※7月1日以降に回収箱をご注文頂く分より改定後の単価となります。

編集後記



会社には毎月各方面から機関誌や月刊誌などが送られてきます。全部に目を通すのは時間的に難しいので、興味のあるところだけを読むのが日常です。ただ、必ず目を通すページがあります。それは背表紙近くの“クロスワードパズル”です。これには必ずと言っていいほど挑戦をしてしまいます。

大抵答えまでたどり着けますが、先日、どうしても分からないワードがありました。そのヒントは「○○は豹変す」でした。全く答えが思い付かず…結局パソコンで調べると○○には「君子」が入るのだそうです。普段使わない言葉ですし、私がせいぜい知っているのは“聖人君子”くらいでしょうか。ちなみに“君子”には様々な意味があり、一般的には学識、人格ともに優れた立派な人、つまり“人格者”だそうです。論語には、よく君子と小人が出てきますが、「君子は義に敏感であるが、小人は利に敏感である」との教えのように、立派な人物は、物事の判断・実践の際に、道義を基準とするが、小人（つまらない人間）は、一事が万事で私利になることしか考えず、実行もしないとのことでした。

クロスワードパズルから、まさか自分への戒めの言葉に辿り着くとは思っていませんでした。今更“君子”にはなれないと思いますが、それでも小人にだけにはなるまいと新たな気持ちにさせられました。

広報部会長 田村 幸男

6 月の主な行事予定

4日(火) | 第3回未来部会 (WEB)

6日(木) | 第3回広報部会 (対面)

11日(火) | J-FAR (エアバッグ布等リサイクルのための基盤づくり) 定例会 (WEB)

20日(木) | 2024年度 日本自動車リサイクル機構 定時社員総会・懇親会

21日(金) | J-FAR (資源回収インセンティブ実装事業) 定例会 (WEB)

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

